

ESRIジャパン データコンテンツ

スターターパック 2027

街区レベル住所



クイックスタートガイド

目次

Table Of Contents

1. 本ドキュメントについて	2
1.1. 概要	2
1.2. 対応環境.....	2
2. セットアップ方法	2
2.1. データをフォルダーごとコピーする	2
3. ご利用方法	3
3.1. プロジェクトに、ロケータを追加する	3
3.2. 住所検索.....	4
3.3. バッチ ジオコーディングを行う	5
3.4. マッチの精度が低い住所の再照合を行う	8

1. 本ドキュメントについて

1.1. 概要

このたびは「ESRI ジャパン データコンテンツ スターターパック 2027 街区レベル住所（以下、「本製品」という）」をご購入いただき、ありがとうございます。本ドキュメントでは、米国 Esri 社のソフトウェア製品「ArcGIS Pro」で利用できるロケーターについて、利用するための方法をご紹介します。

本製品の使用規定は別紙で添付しておりますので、ご利用前に必ずお読みください。また、ご利用条件の詳細を GIS データストア の FAQ ページに記載しております。

<https://www.gisdata-store.biz/faq/>

1.2. 対応環境

本ドキュメントに記載の内容は、以下のバージョンの ArcGIS Pro に対応しています。

ArcGIS Pro 3.2 / 3.3 / 3.4 / 3.5 / 3.6 / 3.7

最新の動作環境については、下記の Web ページをご覧ください。

<https://www.esri.com/gis-data/starter/starter-gaiku/>

2. セットアップ方法

2.1. データをフォルダーごとコピーする

「Data」フォルダーを、フォルダーごとローカルのハードディスクにコピーします。

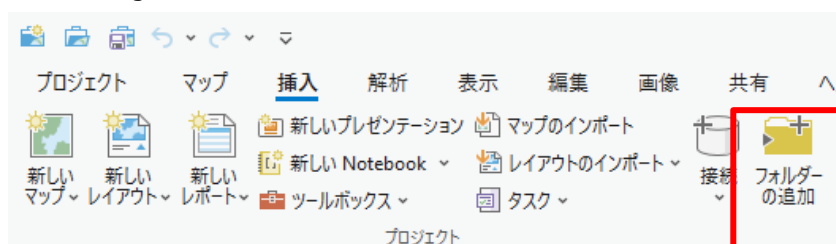
3. ご利用方法

本項では、住所検索とバッチ ジオコーディングの簡単な利用方法をご紹介します。ロケータを利用したその他の機能の詳しい利用方法については、ArcGIS Pro ヘルプをご参照ください。

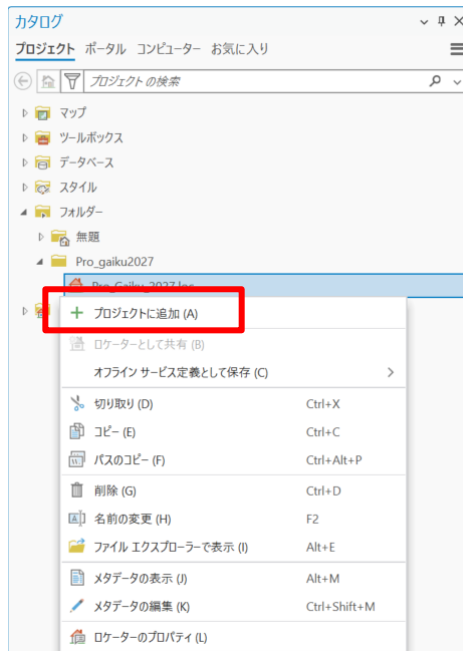
<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/data/geocoding/find-places-on-the-map.htm>

3.1. プロジェクトに、ロケータを追加する

ArcGIS Pro を起動し、[挿入] タブ → [フォルダーの追加] で、ローカルのハードディスクにコピーした「Data¥Pro_gaiku2027」フォルダーを追加します。



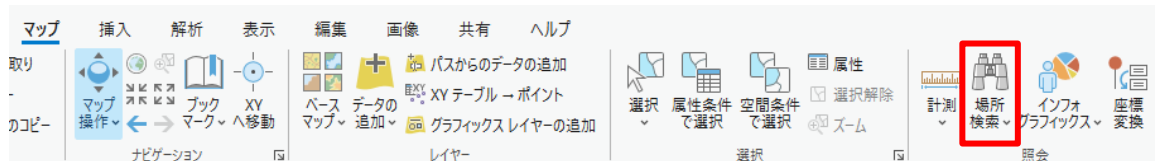
[カタログ] ウィンドウで「Pro_gaiku2027」フォルダー内のロケータ「Pro_Gaiku_2027.loc」を右クリック → [プロジェクトに追加] でロケータをプロジェクトに追加します。



3.2. 住所検索

住所検索は、入力した住所をすばやく検索し、マップ上の対応する位置を表示することができる機能です。

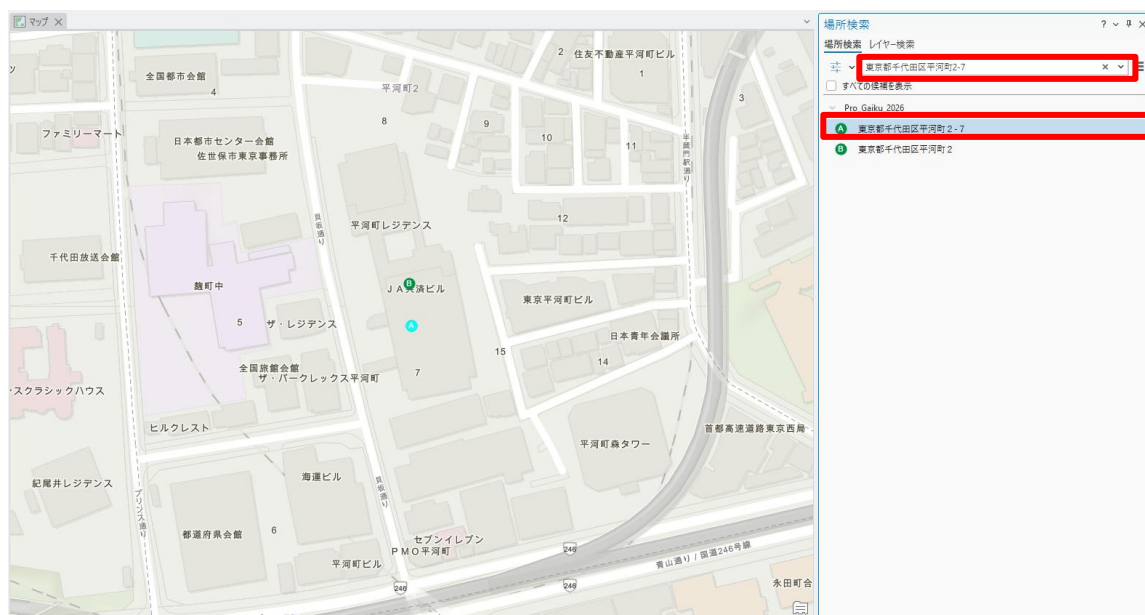
1. [マップ] タブ → [場所検索] をクリックし、[場所検索] ウィンドウを開きます。



2. [場所検索] ウィンドウにて、検索に使用するロケータの [有効化] チェック ボックスをオンにします。



3. [場所検索] のテキスト ボックスに検索したい住所を入力して Enter キーを押すと、検索が実行されマッチした住所が表示されます。



3.3. バッチ ジオコーディングを行う

バッチ ジオコーディングは、大量の住所データを一括でポイント データに変換するプロセスを意味します。

※ 3.3. 以降で記載する手順では、ガイド付きワークフローに沿って対話的に操作を行うことができます。

[住所のジオコーディング (Geocode Addresses)] ジオプロセッシング ツールを使用して、直接ジオコーディングを実行することも可能です。

1. ジオコーディングを行うテーブルを右クリックして、[テーブルのジオコーディング] をクリックします。



2. 各パラメーターを以下のように指定します。



ジオコーディングに使用する
ロケータを選択 (※)



ジオコーディングするテーブルを選択

ジオコーディングするフィールド構成を選択



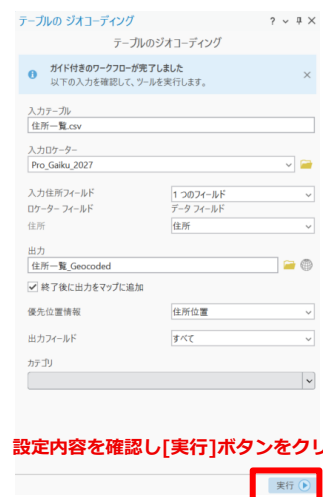
ジオコーディングするフィールド名を選択



ジオコーディング結果の出力名を指定



ジオコーディング結果の種類 (街区レベル等)
を制限したい場合は選択



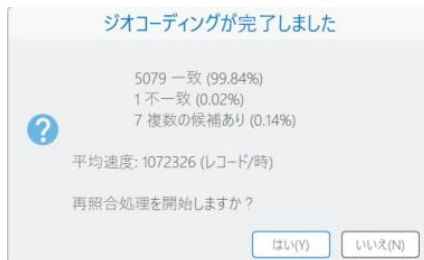
設定内容を確認し[実行]ボタンをクリック

※ 本製品のほかに、ロケーターとして ArcGIS Online で利用されている ArcGIS World Geocoding Service がロケーターとして選択できます。ArcGIS World Geocoding Service を使用する場合、ArcGIS Online のサービス クレジットを消費することにご注意ください。クレジットに関する詳細は下記の Web ページをご覧ください。

<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm>

3. ジオコーディングが完了すると、以下のポップアップが表示されます。

[はい] をクリックすると、[住所の再照合] ウィンドウに遷移します。再照合については「[3.4. マッチの精度が低い住所の再照合を行う](#)」で紹介します。



バッチ ジオコーディング結果一覧として出力される主な項目は以下の通りです。

フィールド名 : エイリアス	内容
Status : ステータス	M : 一致 U : 不一致 T : 複数の候補あり
Score : スコア	入力住所と住所データベースの住所文字列の一致に関するスコア
Match_type : Match_type	A : 自動による照合 M : 手動による照合 PP : ポイント位置で照合
Match_addr : 住所の照合	マッチした住所データベースの値
Addr_type : 住所タイプ	Locality : 住居レベル以外のマッチ
Type : タイプ ※マッチした住所タイプ (Addr_type) が Locality のときに格納されます。	State or Province : 都道府県 Metro Area : 市区町村 City : 政令市 District : 町・大字 Neighborhood : 丁目・字 Block : 街区・地番
Rank : ランク	同じ名前の地名の結果を並べ替えるための指標
ExInfo : 詳細情報	入力文字列のうち住所データベースと照合できなかった部分

その他詳細については、ArcGIS Pro ヘルプをご確認ください。

<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/data/geocoding/what-is-included-in-the-geocoded-results-.htm>

ジオコーディング結果のステータスが「M (一致)」と表示された場合でも、必ずしも住居レベルまで一致しているとは限りません。

以下に、ジオコーディング結果の精度を評価するための二つの観点をご紹介します。

低 マッチレベル 高	① マッチレベルの観点			
	Status	Addr_type	Type	評価
	U	(NULL)	(NULL)	不一致
	M・T	Locality	State or Province	都道府県レベルで特定しています 例：大阪府
			Metro Area	市区町村レベルで特定しています 例：大阪府大阪市
			City	行政区レベルで特定しています 例：大阪府大阪市淀川区
			District	町・大字レベルで特定しています 例：大阪府大阪市淀川区宮原
			Neighborhood	丁目・字レベルで特定しています 例：大阪府大阪市淀川区宮原 2
	M		Block	街区・地番レベルで特定しています 例：大阪府大阪市淀川区宮原 2 - 1 4

② 入力文字列の観点	
Score	評価
～99	入力住所と住所データベースで一致していない文字列があります 例①：大阪府大阪市淀川区宮原 2-1000 （存在しない住居番号が含まれている） 例②：大阪府大阪市淀川区宮原 2-14 新大阪グランドビル 6 階（建物名称など、住所以外の文字列が含まれている）
100	入力住所と住所データベースで一致しています 例：大阪府大阪市淀川区宮原 2 - 1 4

3.4. マッチの精度が低い住所の再照合を行う

ジオコーディング後にマッチ精度が低い住所を再照合することで、住所を正しい位置にマッチさせることができます。

[住所の再照合] ウィンドウでは、住所文字列を編集するか、地図上で位置を修正することで、ジオコーディング結果を更新できます。

画面構成は以下の通りです。

ジオコーディング結果が、各ステータスに応じてタブに分類されて表示されます

再照合の対象となる住所を切り替えます

住所の再照合 - 住所一覧_Geocoded

ローケーター
Pro_GT_2027

不一致 一致 複数の候補あり

住所の照合
住所 東京都足立区第一校舎：新田3丁目34番2号

再照合対象の住所確認および再照合を実施します

自動的に適用 ☐ 適用 キャンセル

住所一覧_Geocoded

ObjectID	Shape	ステータス	スコア	Match_type	住所の照合	長いラベル	短いラベル
1	2824	ポイント	U	0	A		
2	45	ポイント	T	100	A	東京都千代田区神田...	東京都千代田区神田...
3	942	ポイント	T	97.18	A	東京都江東区清澄3-3	東京都江東区清澄3-3
7	1636	ポイント	T	92.69	A	東京都中野区中央2-2	東京都中野区中央2-2
8	4371	ポイント	T	100	A	東京都東大和市向原1...	東京都東大和市向原1...
9	1	ポイント	M	100	A	東京都千代田区平河町...	東京都千代田区平河町...
10	2	ポイント	M	100	A	東京都千代田区新大塚...	東京都千代田区新大塚...

バッチ ジオコーディング結果一覧が表示されます

住所データベースから、再照合対象の住所に対する一致候補が表示されます

各機能の詳細については、下記の Web ヘルプをご参照ください。

<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/data/geocoding/rematch-locations-converted-from-a-table.htm>

3.4.1. 入力住所文字列の編集による再照合

例：入力された住所が「東京都平河町 2 - 7」だった場合

入力住所「東京都平河町 2 - 7」には市区町村名「千代田区」が抜けているため、市区町村が特定できず、マッチするレベルは都道府県までになります。

この場合、正しい住所文字列（例：東京都千代田区平河町 2 - 7）に編集することで、修正した住所文字列で住所を再照合し、マッチする住所と位置を即座に調べることができます。

住所の再照合 - 住所一覧_東京都_Geocod... ? v 4 X

ロケータ
Pro_GT_2027

不一致

住所の照合
住所 東京都平河町 2 - 7 - 1

自動的に適用 ☐ 適用 キャンセル

1 / 1

キャッシュされた一致候補を表示

住所	タイプ	スコア
A 東京都	Locality	72.7

住所の再照合 - 住所一覧_GeocodeAddresses ? v 4 X

① 再照合に使用するロケータを選択
ロケータ
Pro_Gaiku_2027

一致

住所の照合 東京② 住所文字列を編集
住所 東京都千代田区平河町 2 - 7

③ [適用]をクリックもしくは[自動的に適用]をオン
自動的に適用 ☒

⑤ [一致]をクリックすると、ジオコーディング結果が更新されます

キャッシュされた一致候補を表示

住所	タイプ	スコア
A 東京都千代田区平河町 2 - 7	Locality	100
B 東京都千代田区平河町 2	Locality	96.75

④ 候補から一致させる住所を選択

3.4.2. 地図上で位置を修正

ジオコーディングされた結果を地図上で直接修正することができます。

修正するには [マップから選択] ボタンを選択し、以下の手順で操作します。

② マップ上で特定したい位置をクリック

① 「マップから選択」ボタンをクリック

③ ②で特定した位置を選択し「一致」をクリック

住所の再照合 - 東京都_GeocodeAddresses10 ? v 4 X

ロケータ
Pro_GT_2026

一致

住所の照合
住所 東京都千代田区平河町 2 - 7 - 1

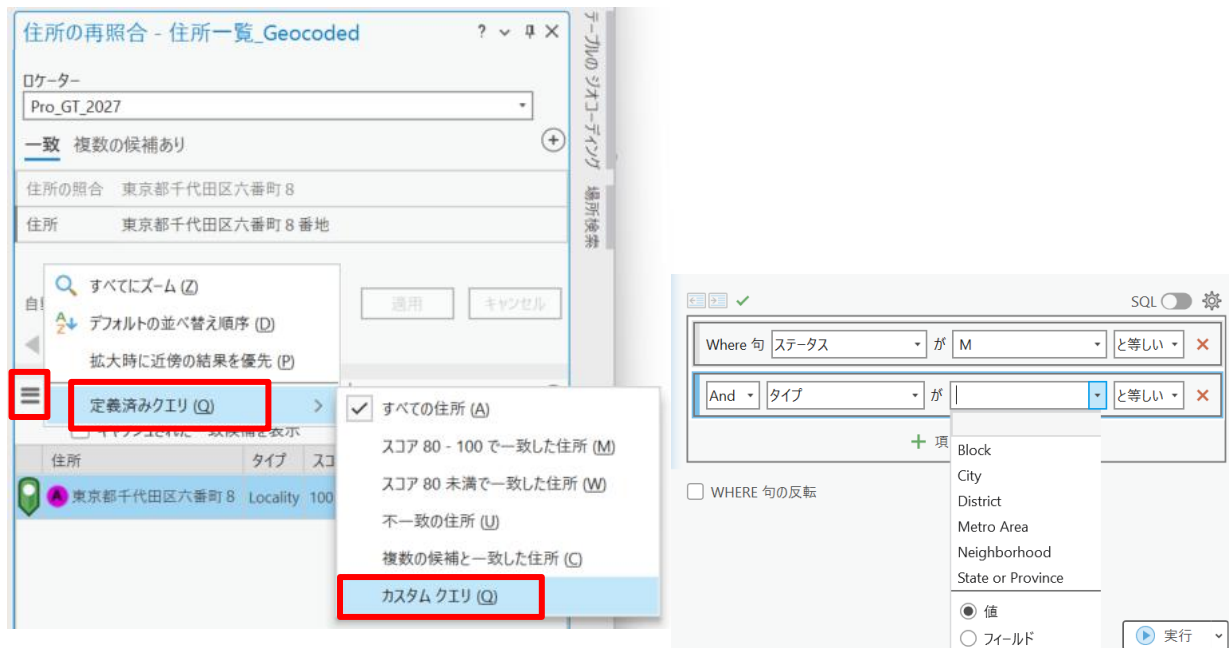
自動的に適用 ☒ 適用 キャンセル

キャッシュされた一致候補を表示

住所	タイプ	スコア
A 東京都千代田区平河町 2 - 7	Locality	100
B 東京都千代田区平河町 2	Locality	96.75

Tips. 住所の再照合ダイアログに表示するジオコーディング結果をカスタマイズしたいとき

1. ボタン → [定義済みクエリ] → [カスタム クエリ] を選択し、任意の抽出条件を作成して [実行] ボタンをクリックします。



2. [住所の再照合] の各タブに、抽出したジオコーディング結果が表示されます。

以上

ESRIジャパン データコンテンツ スターターパック 2027

街区レベル住所 クイックスタートガイド

発行日：2026 年 9 月 初版

発行元：ESRIジャパン株式会社

<https://www.esrij.com/>

本書の内容に関して、予告なしに変更されることがあります。

本書の一部または全部の無断記載・複製を禁止します。